

前回協議会における各委員からの意見（概要）

令和3年2月8日
第5回国分寺市障害者施策推進協議会
資料1

項目	意見（概要）	委員名
障害者地域自立支援協議会の運営	グループホームや訪問系事業所の横の連携が重要となるため、今後の方向性として入れてほしい。	柴田委員
障害者雇用の促進	事業概要に「法定雇用率の達成を維持するため、職場環境の整備に努めます。」と記載があるが、少し控えめな表現に感じるため、今後の推進や幅広い人を受け入れられるような文言を検討いただきたい。	宮崎委員
公民館における生涯学習の推進	くぬぎステップアップ教室の在籍数が少ないという課題があり、制度の見直しも含めた表現をしてほしい。	柴田委員
障害児保育事業	過去の障害者計画の実績と目標値からも令和5年度目標値（27園）が令和元年度実績（25園）と比較して2園しか増えていないのは目標設定として低すぎるため、見直してほしい。	柴田委員
	全員受け入れるという基本方針の中で、それに該当するような目標設定をする必要がある。	松友委員
	保育園は保育に欠けるという要件があるため、障害児の受け入れに対して、幼稚園よりは進んでいるという大まかな印象を持っているが、それでも40園のうちの25園という状況であれば、母親が働いていなくて幼稚園に行かせるようなケースでの障害のある子どもの受け入れという問題も1つ考えられる。今後併せて検討していく必要があると思う。	中西委員

項目	意見（概要）	委員名
避難行動要支援者の支援	災害時に要支援者を支援する場合、民生委員だけでは人手が足りないため、地域住民と連携していきたいが、個人情報もあり、情報が共有できない。また災害時には警察や消防署の方などとも連携を取りながら行動したいが、全く連携が取れていない状態である。 事業概要に「地域で連携し見守り、その他の生活支援体制の整備に努めます」や「地域住民が協力して」という記載があるため、そういう情報を共有できるような体制を整えていただきたい。 また、避難行動要支援者制度というのが、そこまで周知されていないと思うので、周知にも力を入れてほしい。	宮田委員
	障害のある方にとって、災害時に、近所の人から支援を受けるということは非常に重要なことである。自治会単位で、障害者や高齢者の方が住民から守られるような実効性のある方法を検討してほしい。	柴田委員
障害福祉サービスの見込量	市内の生活介護の事業者は非常に評判がよく、ニーズはあると感じているため、事業者の意見も踏まえ、再度検討してほしい。	宮崎委員
成年後見制度利用支援事業	見込量がかなり少なく感じる。 市長申立てが必要な方、かつ補助助成が必要な方というのは、家族で申立てが難しいということであり、収入も少ないということであるため、難しい問題を抱えている方が多い。そういう人たちが本来なら必要なのに、成年後見を利用できないとすれば、そこは大きな問題かと思う。	中西委員
	補助助成について、低所得の人は、市長申立てでなければ対象にならないため、実績が少ない。今後の検討課題である。	柴田委員